



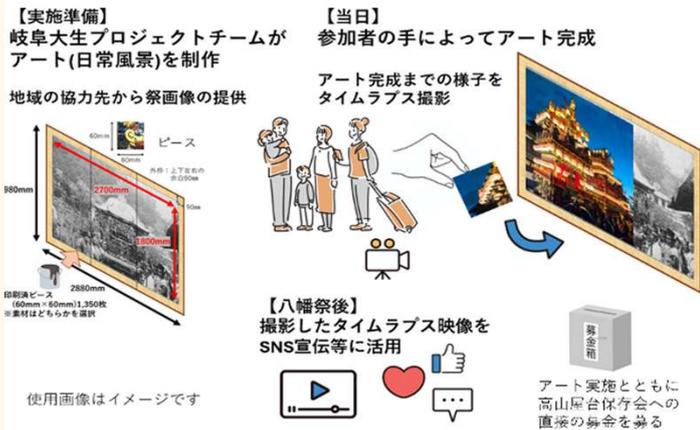
高山祭パズルアートプロジェクト



活動の目的

- 1.訪れた観光客・地域住民に秋の高山祭の魅力伝える
- 2.伝統分野で若者を中心とした動きを生み出す
- 3.地域外の若者の視点を活かし、地域貢献・関係人口増加に貢献する
- 4.祭運営資金確保へ波及効果をもたらす

事業詳細



開催日時

R7.10.9-10.10

開催場所

桜山八幡宮境内 参道の一角

実施内容

ピースをはめることで高山の日常の風景から宵祭の風景に変化するパズルを完成させる観光客参加型アート

ターゲット層

高山祭を訪れた国内・外国人観光客、地域住民など

主催

秋の高山祭ジグソーパズルアートプロジェクトチーム
(岐阜大学社会システム経営学環2年)

補助金の使途

- ・アートのピース、土台
- ・宣伝用ポスター
- ・参加へのお礼品

事業の結果

- ・概算参加者 約700人(目標1,300人)
- ・高山屋台保存会充て募金額 約110,665円
- ・ピース達成率 53%(1,300ピース中)

参加者の声

祭に直接関わることのない地域の出身です。間接的にでも祭を支えることができたら嬉しいです。(60代・女性・高山市内在住)

初めて高山祭に来ました。文化財を守るという目的に共感したため、協力します。(20代・男性・カナダ在住)

伝統を守る活動に参加できる機会は意外と少ないので、子供と楽しく参加できてうれしかったです。(50代・女性・岐阜県外在住)

屋台の美しさに感動しました。そして、祭りのために頑張っている学生にも感動しました。(20代・男性二人組・ドイツ在住)

関係者からのフィードバック

地域のイベントごとや、今後の秋の高山祭などでも、引き続きこのパネルを使って地域の子どもたち・団体を巻き込みながら募金活動に取り組み、郷土愛の醸成や祭文化の維持継承に役立ててほしい。

活動を通して

今回のプロジェクトでは地域内外の人々に、高山祭に対して関心を深めてもらい、支援継続の必要性を感じてもらうことができました。また学生自身も多くの学びを得ることができ、不安な挑戦の中で多くの人の想いに支えられ高山祭を自分事として深く好きになった経験となりました。次の開催の予定はありませんが、高山祭に関わらせていただく機会がまた出来ればと思います。

補助金を活用してみても

今回私たちは補助金制度による丁寧なサポートと全面的に私たちに協力してくださる方々に支えられ、貴重で重要な機会をいただきました。私たちが惜しみない補助をいただき、大きなトラブルも不安もなく本プロジェクトを実行まで完走できたように、多くの若い方がこの制度を活用し、自身の表現したいこと・伝えたいことを全力ですることに期待します。

この取り組みは、岐阜大学社会システム経営学環2年生が取り組んだ「マネジメント実践実習-八幡祭課題解決型実習-」の地域課題の解決策提案の一部を実装しようと考えた学生3名による取り組みである。

【八幡祭ジグソーパズルアートプロジェクトチーム】
担当：工藤

mail:yuzu2875yuzu2875@gmail.com